

平 群 Heguri

議会だより
4月・5月臨時会

No.266
平成30年6月1日
発行:奈良県平群町議会

第2回・第3回臨時会

就任のあいさつ

2

議長 森田 勝 副議長 山本隆史

議決結果・質疑あれこれ

3~4

議会の構成/選挙結果/編集後記

4



第9回 ヘぐり時代祭り（4月29日開催）

就任あいさつ



議長
森田 勝

若葉青葉の輝きに満ちた頃、皆様におかれましてはますます清栄のこととお慶び申し上げます。去る5月8日(木)に開催されました臨時議会で、議会議長の要職に就任させて顶くことになりました。私自身、身に余る光栄で、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

議会に求められている「町政のチェック機能」、「民意の反映」を図ることともに、平群町議会基本条例に基づく議会運営に努め、議員各位の協力を得まして「わかりやすい議会」、「説明責任を果たす議会」、「議論する議会」、「政策提言する議会」を目指して、精励恪勤する覚悟であります。

さて、本町の高齢化の進展は他の自治体に比べて著しく、人口減少に歯止めがかからず厳しい状況にあり、また財政状況は非常に厳しい危機的状況にあると言つても過言ではありませんが、住民の皆様と一緒に「智慧」と「汗」を出して難局を乗り越え、若い世代や子や孫の世代に誇れるまち、魅力あるまちづくりに粉骨碎身、取り組む所存であります。

どうか、住民の皆様のご理解と、ご指導を賜りますよう、厚顔ながらお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

平群町民の皆さんのお声を原動力に

平成30年第3回臨時会が5月8日開催され、議会の役員及び各委員会の選任がおこなわれました。
議長には森田勝議員が、副議長には山本隆史議員がそれぞれ選挙で選ばれました。
(議会構成、投票結果は4ページ)

財政的難局を乗り越えて、住民が誇れる、魅力あるまちに

の協力を得まして「わかりやすい議会」、「説明責任を果たす議会」、「議論する議会」、「政策提言する議会」を目指して、精励恪勤する覚悟であります。

このたび5月8日の臨時議会におきまして副議長に就任させて顶くことになり、身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。森田議長のもと、透明性のある公平・公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

さて、国策の地方創生戦略がスタートして今年で4年目に入りました。本町も例外なく人口の減少に歯止めがかからず、この3月末時点での人口は1万9千人を割り込み、1万8988人となりました。未だに人口減を改善する特効薬は見つからないものの、執行機関と議会との真摯な提案・議論が行われており、未来ある平群町へ向けて推進してまいります。

今後、二元代表制の一翼を担う町議会の役割も一層大きくなっています。皆さまのお声を背景に町議会が持てる力を十分發揮できるよう、全力を尽してまつる決意であります。

町民の皆さんにおかれましては町議会に対しより一層のご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせて頂きます。



副議長
山本 隆史

第2回・第3回臨時会 こんなことが決まりました

平成30年の第2回臨時会が4月3日に、第3回臨時会が5月8日に開催されました。各臨時会に提出された議案の審議内容とその結果を紹介します。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議 案 名	議決結果	山本 隆史	城内 敏之	井戸 太郎	森 田 勝	稻 月 敏子	植 田 いづみ	山 口 昌亮	高 幸 生	窪 和 子	下 中 一 郎	馬 本 隆 夫	山 田 仁 樹
町長提出議案	専決処分の承認を求めるについて(平成29年度平群町一般会計補正予算(第7号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度平群町一般会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めるについて(平群町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群北小学校空調設備整備工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

平成30年度一般会計補正予算(7号) 専決処分 平成29年度一般会計補正

駅周事業の進捗に伴い、平群小学校用地を充てんする必要があることから、1億9560万円、(財源)町債1億7600万円、財政調整基金1960万円)で、平成29年度内に完了が見込めない地域福祉計画策定事業200万円、土地分筆登記業務50万円を繰越設定に追加するものです。

4月臨時会

質疑あれこれ

第2回・第3回臨時会に上程された議案及び質疑を紹介します。

用地を取得するためのもの。

主な質疑

質問 なぜ新年度が始まってすぐの補正予算提出か。

質問 この地権者だけ仲介するのかどうかわからないが、地権者の意向に沿つよう交渉した結果このようになった。

質問 特例の言葉が当時はまるからどうかわからぬが、地権者の意向に沿つよう交渉した結果このようになった。

質問 仲介手数料の発生は特例ではないのか。

質問 駅周事業地内の民地1億9500万円を文化センター建設事業で収用取得の予定だったが、これでは民地地権者が課税特例を受けられないことが明らかになった。そのため、課税特例が受けられる小学校用地として収用する必要から、今回の補正提案になつた。

質問 用地取得の手数料460万円の説明を。

質問 文化センター建設事業への協力要請の中で、地権者が代替地の提供を希望したため、仲介業者に代替地の紹介を依頼した。それに要する手数料。

質問 駅前の1万m²を確保しなければならない町の大目標のために、交渉の中でのやむを得ない手法であると思っていて。

反対討論

駅周事業、文化センター建設の速やかな対応をするためには、交渉の上においてやむを得ない手数料だと理解している。1日も早く駅前が完了できることを祈念しており、この補正予算については賛成する。

賛成討論

質問 手数料の積算根拠は。

質問 2人の地権者のうち、1億3800万円の地権者の代地分。国土交通省の基準により、1億3800万円に3%を掛け、それに6万円を足して、消費税を加算。453万6000円になり、460万円計上。

議会の構成							
議長 森田 勝				副議長 山本 隆史			
名称		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務建設委員会	窪 和子	城内 敏之	森田 勝	山口 昌亮	山田 仁樹	馬本 隆夫
	文教厚生委員会	井戸 太郎	稻月 敏子	山本 隆史	植田 いずみ	高幣 幸生	下中 一郎
特別委員会	下水道事業特別委員会	植田 いずみ	山田 仁樹	稻月 敏子	高幣 幸生	下中 一郎	馬本 隆夫
	駅周辺整備事業特別委員会	山田 仁樹	山口 昌亮	城内 敏之	森田 勝	高幣 幸生	下中 一郎
	財政検討特別委員会	馬本 隆夫	窪 和子	山本 隆史	植田 いずみ	山口 昌亮	山田 仁樹
	議会改革特別委員会	高幣 幸生	井戸 太郎	山本 隆史	森田 勝	山口 昌亮	山田 仁樹
	公共交通対策特別委員会	下中 一郎	植田 いずみ	井戸 太郎	稻月 敏子	窪 和子	馬本 隆夫
議会運営委員会		山口 昌亮	高幣 幸生	城内 敏之	井戸 太郎	植田 いずみ	窪 和子
議会だより編集委員会		山口 昌亮	高幣 幸生	城内 敏之	井戸 太郎	植田 いずみ	窪 和子

議長選挙投票結果

投票総数 12票
有効投票 11票
森田 勝 6票
下中一郎 5票
(白票 1)
当選 森田 勝

副議長選挙投票結果

投票総数 12票
有効投票 12票
山本隆史 6票
山口昌亮 5票
井戸太郎 1票
当選 山本隆史

専決処分
消防団員等公務災害
補償条例の一部改正

非常勤消防団員等に係る損害
補償の基準を定める政令の改正
に伴つたもの。

非常勤特別職の報酬、
費用弁償に関する条例
の一部改正

制度改変に伴つて「国民健康保
険運営委員」を「平群町の国民
健康保健事業の運営に関する協
議会委員」に改めたもの。

町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴つた
ので、固定資産税の特例措置(下
落修正、負担調整措置等)の2年
間延長ならびの改正をおこなつた
の。

国民健康保険税条例の 一部改正

地方税法の一部改正に伴つて、
国保税医療分の課税限度額を來
じた。

都市公園条例の一部改正

都市公園法施行令の一部改正
に伴つて、公園内に設ける運動施
設の規約の条文を追加するもの
である。



森田新議長と新編集委員会

なお、平群町議会では、
議会の論戦、各議員の提案
を本紙で伝えねじむことや、
定例会、臨時会の本会議
にてを録画ネット中継で配
信していお。是非ご利用
をお願じしめます。町のホー
ムページからアクセスでも
まわ。

三〇
記

編集後記

5月8日の臨時会で編
集委員の変更がありまし
た。私・山口が引き続き委
員長を務めることになり
ました。全委員で協議しな
がい町行政や議会がよく
わかる紙面づくりをめざ
しあが。

年度から、現行の54万円を58万
円に引き上げるもの。また、輕
減判定所得の算定について、5
割軽減の1人当たり加算額を27
万円から27.5万円に、2割軽減
の1人当たり加算額を49万円か
ら50万円に今年度から引き上げ
ねたの。

5月8日の臨時会で編
集委員の変更がありまし
た。私・山口が引き続き委
員長を務めることになり
ました。全委員で協議しな
がい町行政や議会がよく
わかる紙面づくりをめざ
しあが。